

瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウムの報告について

1. 開催日時 平成26年11月15日(土)13時30分～16時

2. 開催場所 瀬谷公会堂

3. 内容

(1) 基調講演

講師：公益財団 ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員 澤岡 詩野 氏
テーマ：「見直そう、あなたの地域と第3の居場所」

(2) 地区の取組発表

① 阿久和南部地区

「阿久和南部地区の取組」

発表者：阿久和南部地区社会福祉協議会 会長 相原 和行 氏

② 瀬谷北部地区

「地域福祉保健計画 第2期計画の振り返り」

発表者：瀬谷北部地区社会福祉協議会 会長 岩崎 ミチ子 氏

③ 瀬谷第四地区

「瀬谷第四地区の取組」

発表者：瀬谷第四地区社会福祉協議会 会長 松本 幸一 氏

(3) パネルディスカッション

(4) その他(公会堂ホワイエにて)

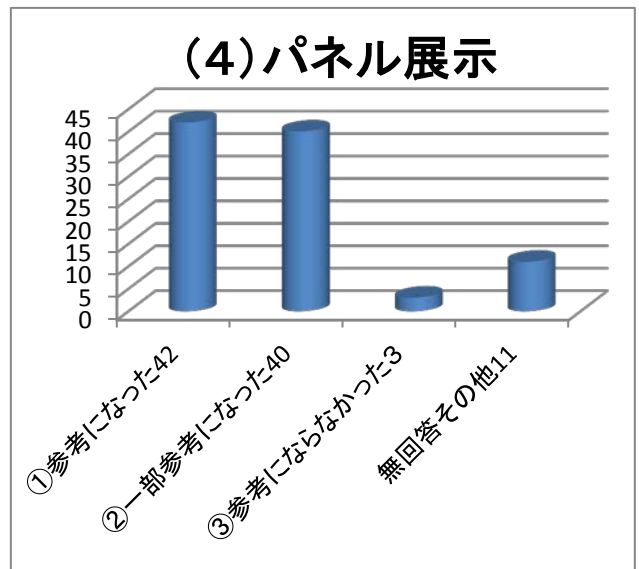
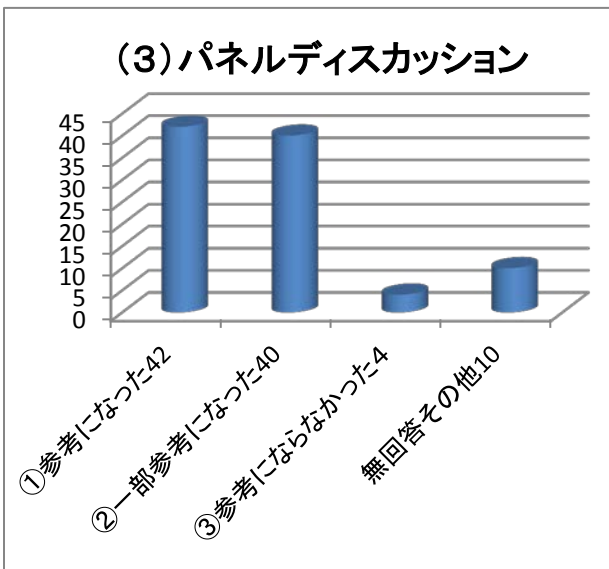
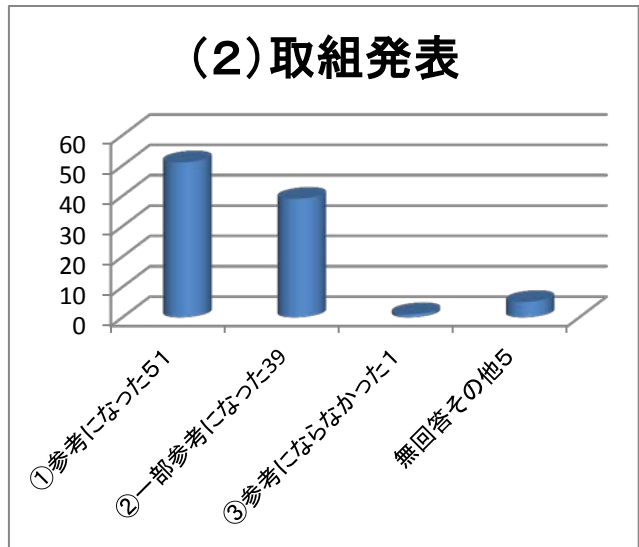
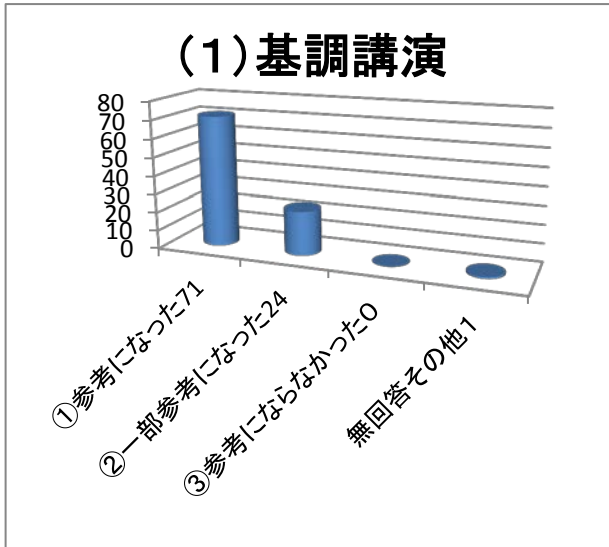
- ・パネル展示：区内12地区の地区別計画の取組紹介
- ・地域作業所自主製品販売

4. 参加者数(参加者総数) 約300名

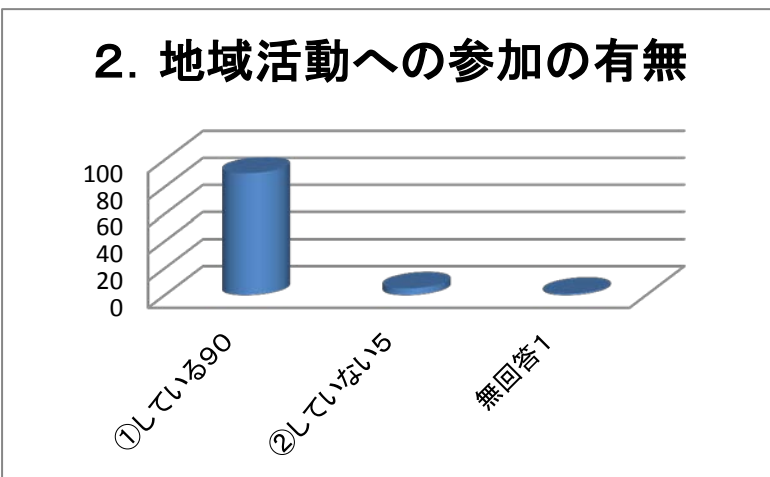


5. アンケート結果
回答数 96名

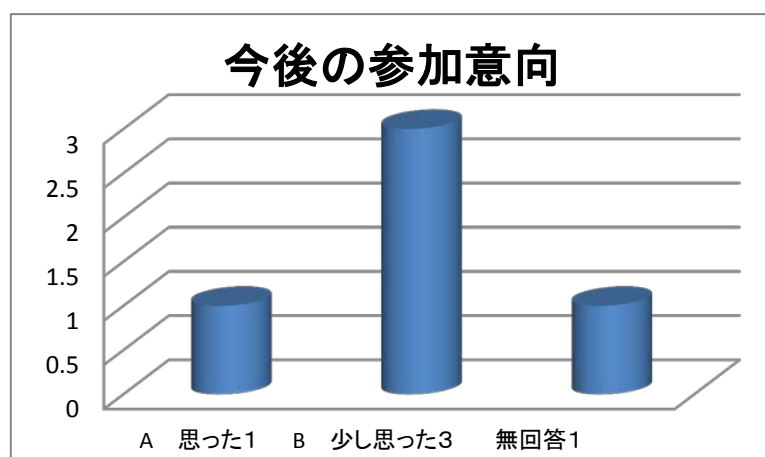
(1) シンポジウムの内容はいかがでしたか。



(2) 地域活動に参加していますか。



(2)①参加していない人で、今後地域活動に参加しようと思いましたが。



(3)本日のシンポジウムを通してお気づきのことや感想がありましたらご記入ください。

基調講演について

- ・テーマが興味深いものだったが、もう少し時間が欲しかった。
- ・自治会・町内会と社会福祉協議会と民生委員児童委員協議会、ボランティアグループ等が一体になって取り組める体制が計画を前進させると感じた。
- ・テーマ型NPOとの連携、地域行事へ数回参加する人への次のステップに向かうための声掛けなど参考となった。

取組発表について

- ・裏方を担うボランティアや支援者等と地域活動のリーダーとの目標の共有のしくみが必要かと感じた。
- ・人材については、皆さん男女問わず社会で活躍してきた人達なのでたくさんいると思う。いかに声を掛けるかが課題だと思う。
- ・3地区の発表から、瀬谷区はまとまった地域だと思った。見守り、ボランティア活動が活発に行われており、これからも安心して暮らせる地域に私達も一層頑張らなくてはと思う。
- ・パネル展示も各地区の活動がよく分かり、勉強になった。

全体

- ・地福計画は、まさにまちづくりであり地域づくりであると思う。計画段階でさまざまな関係者に呼びかけ、様々な人々の参加により地域コミュニティづくりだ。
- ・地区ごとに特色があるが、第3期では共通のテーマを各地区がどのように取るか情報交換をしたい。
- ・地域が活発なところは、結果として元気な人が集まるように思う。若い世代にも「必要」と思われる活動を今後も続けて頂きたい。
- ・瀬谷の地域福祉保健計画が根付いてきていることを感じる。
- ・参加者が自治会長、民生委員や地域活動に積極的に関わっている人に限定されているように見えた。開催のPRをもっとしてもっと若い人も参加できるようにしたい。